

第1回地域政策懇談会（知多地区） 意見交換の概要

平成25年5月29日（水）午前10時～11時30分
半田商工会議所 3階 大会議室

（半田市 榊原純夫市長）

- ・ 南海トラフ地震への対策は喫緊の課題。衣浦港は、愛知県のみならず日本の産業を支える重要港湾であり、地震に対する補修対策が必要。現在改訂中の港湾計画の中に、衣浦港の補修対策を取り込んでいただきたい。
- ・ 財政状況が厳しいなか、福祉施策に受益者負担を取り入れていくことはやむを得ない。実施する際には、早い情報提供をお願いしたい。
- ・ JR武豊線半田駅周辺の高架事業へ支援をお願いしたい。
- ・ 半田市は酪農が盛んだが、都市集約型の農業で、臭気対策が喫緊の課題。ご理解をお願いしたい。

（常滑市 片岡憲彦市長）

- ・ 国際空港であるセントレアに続く空港道路を国に買い上げていただき、国の直轄道路として、利用料金の無料化をお願いしたい。
- ・ 西知多道路について、地域高規格道路として、26年度の整備実現に向けご努力願いたい。
- ・ 中部臨空都市の契約率は全体で約56%であり、まだまだ誘致が必要。国際交流や物流機能等の集積促進を図り、中部の玄関口としての役割を担えるような取組をお願いしたい。
- ・ アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区についても、先端産業の一大集積地となるよう地域を挙げて取り組んでいただきたい。
- ・ 中部国際空港の2本目滑走路の整備促進と、24時間空港としての位置づけをお願いしたい。
- ・ 昇龍道プロジェクトのもと、知多地域がひとつになって観光促進を図っている。県においても情報発信を行っていただきたい。
- ・ 常滑市には19.8kmの海岸線がある。地震防災対策として、門樋、樋門の改修や、海岸施設の補修をお願いしたい。

（東海市 宮下修示副市長）

- ・ 現在、2023年を目標とする第6次総合計画を策定中である。東海市は、産業構成上、男性が多いが、市長の公約である合計特殊出生率2.0を目指して、女性が住み続けたい、女性に評価されるまちづくりをしていきたい。
- ・ リニア中央新幹線の開業を視野に入れ「東京まで1時間のまち」と意識している。産業、地域経済の活性化は大きな課題である。未来に向けてまちの価値を下げない施策を展開していきたい。

（大府市 久野孝保市長）

- ・ 医療、介護、福祉の集積をいかして、ウェルネスバレー構想を立ち上げ、新産業で健康長寿を目指している。これを県あるいは国のプロジェクトにもしていただき、大きく次世代産業を育成していきたい。

（知多市 渡辺正敏副市長）

- ・ 電気、ガス、石油などのエネルギー基地があるが、老朽化が進んでいる。安全な操業、安全なエネルギー供給ができるよう支援を考えていく必要がある。
- ・ 県には、新産業、航空宇宙、ロボット産業など未来への産業が集積している。こうしたものづくりを飛躍させていくことが日本の成長につながる。将来を見据えた取組を進めていただきたい。
- ・ 将来的にも持続可能な社会保障制度の構築が必要。高齢者雇用は、健康や医療費減にもつながるので、施策の展開をお願いしたい。

(阿久比町 竹内啓二町長)

- ・ 知多半島は、渥美半島の自然堤防に守られた栈橋的な役割を果たしている。空港を中心に産業の栈橋として、世界へ発信するという捉え方をしてほしい。
- ・ 県道を始め道路体系の整備をお願いしたい。知多半島道路の民営化については、阿久比 PA を拡大し、地元製品の販売をできるようにするなど、住民にプラスとなる取組をお願いしたい。
- ・ 阿久比川水系について、過去に何度も水害に遭ったので、河川堤防の強化だけでなく、河川に流入する雨水を調整するための、ため池を利用した治水に力を入れていただきたい。
- ・ 阿久比町では人口が増加しており、年少人口の割合も全国平均を上回っている。子育て支援や教育への投資について力添えをお願いしたい。

(東浦町 神谷明彦町長)

- ・ 昨年度から事業仕分けや業務改善提案制度を実施し、自律的にチェックできる強い組織づくりを進めている。人件費削減についても、退職金減額や、地域手当廃止などの努力をしている。
- ・ 半田養護学校が飽和状態になっている。知多北部に養護学校をもう1校創設してほしい。
- ・ 長良川河口堰の検討がされているのは画期的なことだと思っている。開門調査等、検証段階に進めていただきたい。また、知多半島では、工業用水を入れかえるだけでも木曾川の水を飲むことができる。柔軟な対応をお願いしたい。
- ・ 東浦町は衣浦湾の最奥部で浸水の予想も出ているので、堤防等の強化をお願いしたい。
- ・ 名鉄巽ヶ丘駅付近で、名古屋半田線の整備とリンクしたまちづくりをやっていききたい。
- ・ ウェルネスバレー構想を大府市と一緒に進めているが、さらなる県の協力をお願いしたい。
- ・ 道路関係については従前からいくつか要望しているが、あいち健康の森で止まっている都市計画道路の大府東浦線を伸ばしていただきたい。
- ・ 東浦知多インター周辺などは、都市計画マスタープランでは産業誘致をする位置づけになっているが、農振除外が進まずネックとなっている。手続きの簡略化や地域の実情に合わせた柔軟な対応をお願いしたい。

(南知多町 石黒和彦町長)

- ・ 70%の緑地を抱える美浜町と南知多町のように、モノづくりの枠から外れた地域は、第1次産業が中心となり、観光とリンクせざるを得ない。知多半島が愛知県のなかでどういう役割を果たすのか明確にしてほしい。
- ・ 国では農地への株式会社参入について議論がされているが、南知多町では、600人の農家のうち専業農家は120人。後継者の確保も難しい状況下で、せっかく農家になっていただいたにもかかわらず、国の方針にある輸出をする産業になるのかどうか、検討していただきたい。
- ・ 国営農地の道路（奥田内福寺南知多線）の1.8kmが取り残されているので、早急に整備していただきたい。
- ・ 一番の観光振興策として、アクセス道路の低廉化をお願いしたい。
- ・ 南知多町の中学校は1校平均約100人であり、統合を前提とした協議を始めた。子どもたちの教育を中心に考えてはいくものの、経費削減にもなるので、統合に対する配慮をお願いしたい。
- ・ 災害時には観光客の避難所としての機能が果たせるような、学校の施設の整備を考えていきたい。（トリアージのできる保健室、避難民への食事の提供を行う給食センター等）

(美浜町 山下治夫町長)

- ・ 海拔10m以内に人口の9割が居住しており、地震や津波に対しては強い危機感を感じている。11月17日に県と共催で実施する津波・地震防災訓練では、小中学校を臨時出校日にするなど、全町をあげて参加したい。
- ・ 安心・安全の確保のため、災害時に逃げる道は多い方がよい。知多東部線、西部線の南伸をお願いしたい。

- ・ 同報系無線は県の補助金により整備しているが、戸別受信機は普及していないので、補助金の継続と増額をお願いしたい。

(武豊町 初山芳輝町長)

- ・ 知多東部線を、美浜町、南知多町まで伸ばしていただきたい。
- ・ 知多半島では東西軸が弱い。三河との連携のため、名浜道路を知多半島まで延伸していただきたい。武豊町内では、武豊港線、みゆき通り、富貴線、榎戸大高線といった南北軸の整備をお願いしたい。
- ・ 防災に関して、企業の持っている護岸が老朽化していることから、企業への指導をお願いしたい。
- ・ 野菜茶業研究所跡地の購入を求められている。市街化調整区域になっているが、住宅がはりついているようなところについては、市街化区域編入をお願いしたい。
- ・ 武豊町に所在する企業について、外国税額控除による町の税収減があった。税制改正という大きな問題だが、ご配慮いただきたい。
- ・ 武豊町では、専業農家は 50 人、兼業農家は 400 人である。地域の農業を支える兼業農家に対する補助を考えていただきたい。

(半田商工会議所 筒井保司副会頭)

- ・ 5 年 10 年かけて道州制にするのは日本にとって手遅れではないかと思う。
- ・ 中京都構想については、地域が自分でやっていかなければならないということを鮮明にされており、賛成である。中京都構想の中で、知多半島がどういう位置づけなのかうかがいたい。

(常滑商工会議所 杉江省一郎会頭)

- ・ 連絡橋無料化、第二滑走路、臨空都市などについては、常滑市長が話したとおり。
- ・ カジノ構想については、知多半島全体でやっていこうと PR してきたし、日本の中でも、常滑が一番勉強してやってきたと自負している。企業庁のおかげで前島も埋まり、カジノをやる場所もなくなってきたので、カジノ構想を中止することとした。
- ・ 中部国際空港ができたことで、常滑には企業もできたし、まちも変わってきた。空港島も、少しでも多くの人に来てもらえるような取組をお願いしたい。

(東海商工会議所 根岸昭雄会頭)

- ・ 東海市では、太田川駅周辺の開発、大規模小売店の進出、大学キャンパスの開校等で、人口も増え、まちが大きく変わりつつある。その一方で、全国チェーンの店舗の進出により、古くからの商店が閉店し、地場の商店街が成り立たなくなっている。
- ・ これを食い止めるためには、商工会議所に加入してもらうことが必要。商工会議所に入ってもらわないと地域貢献をするための組織活動ができないので、全ての商業を営む人が商工会議所に加入していただく施策を考えてもらいたい。

(大府商工会議所 木村勝昭会頭)

- ・ あいち健康プラザには、1,000 人規模の国際会議場がある。2014 年に ESD ユネスコ世界会議が名古屋市で開催されるので、会議、イベント、分科会など、ぜひ、あいち健康プラザの施設を活用していただきたい。
- ・ 大府市には日本でも有数の農産物販売所である JA のげんきの郷がある。長寿医療研究センター、あいち小児保健医療総合センターなどの施設もあわせて、健康づくりに観光を入れ込み、取組を進めていきたいので、ご支援をお願いしたい。

(阿久比町商工会 竹内松彦会長)

- ・ 知多半島道路の阿久比 PA は下り線のみで上り線からは入れない。中部国際空港や内海海水浴場

へ行く際の最終休憩地という位置づけだが、実際は空港へ行く際の時間調整に使われている。上下線から入れるようにして、地元製品の販売ができるPAの整備をお願いしたい。

- ・ 知多半島に工業団地が多くできたこともあり、名古屋方面から知多半島に通勤する人も増え、名古屋半田線と名鉄河和線が交差する阿久比町内の椋岡の踏切では、渋滞が慢性化している。名鉄河和線は半田方面から高架作業に入っているが、阿久比駅は高いところにあるので、そのまま半田方面へ向かうと高架工事も楽に進む。県・国での支援をお願いしたい。

(東浦町商工会 水谷武夫会長)

- ・ 都市計画道路大府東浦線は、あいち健康の森の南側が未整備で、東浦町からはアクセスがしにくい状態になっている。繊維産業衰退後の地場産業育成という点からも、ウェルネスバレー構想には産業界としても非常に期待している。そのためには接続道路が必要であり、大府東浦線の整備をお願いしたい。
- ・ 東浦町には大手企業の遊休地がある。せっかく企業庁が整備、売却された土地であり、地元企業の企業城下町という観点からも、企業の早期進出について支援をお願いしたい。

(知多市商工会 安島克俊副会長)

- ・ 商売には交流と交易が大切であり、西知多道路整備の早期実現をお願いしたい。
- ・ 知多刈谷線と名鉄線の高架事業は、三河と知多半島の交易・交流に非常に役立つものである。東海市、東浦町、名鉄と多くの方の理解が必要だが、県のリーダーシップにより早期の着工実現をお願いしたい。

(内海商工会 日比義郎会長)

- ・ 内海を起点に豊浜・師崎、さらには両島、知多半島への観光ができることから、内海は南知多町の玄関と言われているが、現在の内海は、玄関というには程遠い状況にあり、住民の努力だけでは補えない部分が多くある。
- ・ 内海駅は高架になっているため、高齢者等に敬遠されやすい。ぜひ、エレベータ、エスカレータの整備をお願いしたい。
- ・ 内海は観光地ではあるが、道路網が発達しておらず、イベント等があると事故などが多く発生しているので、観光地としての道路網を充実していただきたい。
- ・ 旧内海高校跡地の有効活用についても、取り計らいいただきたい。

(豊浜商工会 石黒兼幸会長)

- ・ 水産加工業者の高齢化、後継者不足による事業所の廃業等により、商工会の会員数や予算規模も大きく縮小した。バブル崩壊以降、急激に地域経済の低迷が進んでいる。会員減少には水産関係業者も含まれ、特に、製造業と卸売業者は厳しい。
- ・ 商工会では、青年部や青年部OBを中心に、観光客等流入人口の増加を図る事業を実施している。「鯛祭り」を観光資源として、地元特産品とともに「おいなあ豊浜」というホームページとソーシャルメディアを使い、情報発信している。
- ・ 県有地である豊浜漁港埋立地(石之浦地区)については、商工会としても提案公募型地域活性化育成事業に提案している。この地区の活性化は検討中だが、地域の事業者にとってビジネスチャンスとなり雇用の場も生まれるので、補助制度等を含め、支援・協力をお願いしたい。

(師崎商工会 坂下和久会長)

- ・ 羽豆岬がSKE48のアルバム曲に使用されたことを契機に、老朽化により使用禁止となっていた展望台の建設事業を行った。これには県・町から補助をいただき感謝している。
- ・ 観光業とシラス加工業で会員の半数を占める。観光客は、リーマンショックと東日本大震災の影響による落ち込みから回復基調にはあるが、依然として少ない状況にあり、シラス加工品の売り

上げ低下などの悪影響がある。

- ・ 県としても観光振興に取り組まれているが、さらなる各種補助事業を実施していただきたい。

(美浜町商工会 廣澤嘉成会長)

- ・ 会員増に向けて取組を進めているが、組織率が 60%を切ると事務局長設置費の補助金がもらえなくなる。我々では未加入者の把握ができず、町に問い合わせても、事業所統計は公表できないということで苦慮している。未加入者事業者の把握ができるよう支援をお願いしたい。
- ・ 自己財源の確保は県連からも指導されており、努力している。
- ・ 美浜町は東と西に集落があるが、間に山があり東西の道路が弱い。観光客もどちらかにしか行かない。観光客が美浜町を一周できるよう小鈴谷河和線の整備をお願いしたい。

(武豊町商工会 天木一馬会長)

- ・ 武豊町以南から三河へ行くためには、半田市から衣浦トンネルか衣浦大橋を通っていくことになるが、トンネルはETC が使えず非常に不便。そのため、三河方面との行き来があまりない。
- ・ 名浜道路は、碧南から常滑までの区間を早く全線調査区間にしていただきたい。武豊インターにつないでいただき、武豊ジャンクションとしていただくとありがたい。
- ・ 臨海部には外国企業がいくつかあり、その下請けや従業員の飲食等、様々な面で町内の商工業者は潤っている。企業の一部部門の撤退や売り上げ激減により、商工会も非常に影響をうける。
- ・ 野菜茶業研究所跡地については、武豊の中心地にあり、経済界としても町の購入を希望している。
- ・ 町の北部に名古屋市野外活動センターがある。センターには、野球場やキャンプ場等の設備があり、若者や子ども連れが遊ぶことができる。また、知多半島道路近く、災害時の拠点にもできる。名古屋市からは町での購入を提案されているが、町の財政では難しい。ぜひ県で購入していただき、武豊町でも使用できるようにしていただきたい。

(大村知事)

- ・ 貴重なご意見をたくさんいただいた。
- ・ 南海トラフ巨大地震が想定されるなか、安全・安心のための対策、道路、海岸堤防、衣浦港・名古屋港含めて、地域の声をしっかり聞きながら、着実に整備を進めていきたい。
- ・ 愛知県道路公社が管理している有料道路の運営権の民間開放について、1 年がかりで検討し、国とも協議をしてきた。昨日の朝、国土交通省に県の提案を提出し、全面的に支援するという回答をいただいた。
- ・ 有料道路の運営権を民間開放しようという動きは、日本国内に他にない。今後、国からの調査費も付くので、しっかりと案を作っていく。
- ・ 基本的には、今の料金の範囲内で、どういう工夫ができるかということを考えていきたい。サービスエリア、パーキングエリアなどを充実させて、より多くのお客さんに来ていただけるようにしていきたい。
- ・ これは、国内初の道路を使ったインフラビジネスになる。全国から注目されることになり、もっと多くの方に全国から来ていただけるのではないかと期待をしている。
- ・ ウェルネスバレー、健康づくりの問題については、今年度、あいち小児保健医療総合センターの救急棟の着工をする。薬草園も作るので、ご意見をいただきながら進めていきたい。
- ・ 半田養護学校はじめ特別支援学校については、県内各地からたくさんのご意見をいただいている。今年度1年をかけ県の特別支援学校をどのように配置していくか、計画を作ることにしている。
- ・ 中京都構想については、日本を代表する強力な地方政府、自治体をつくって、地域の元気を出していきたいということ。その中で、知多地区には国際空港があり、名古屋港・衣浦港のふたつの

国際港湾もある。観光も農業も水産業も、工業もある。名古屋に隣接しており、まさに愛知の中心だと思っている。

- その力、ポテンシャルをさらに発揮できるよう、皆様にお知恵をいただきながら取り組んでいければと思っている。
- 今日がひとつのキックオフということで、これからビジョンづくりをやっていくが、多くのご意見・ご要請をいただいて、いいものに仕上げたい。